

2012年 10月 活動

2012年10月28日

●エコな大学1位は日本工業大(10月27日)

NPO法人「エコ・リーグ」は、2011年度に全国の大学が実施した環境対策を評価した「エコ大学ランキング」で、日本工業大(埼玉県)が1位に選ばれました。一昨年は私立大学部門で第1位、昨年は同部門で2位でしたが、今回は総合で第1位となりました。

日本工業大は学生が手作りで製作した太陽光発電を増やし、使う電気の6%をまかない、また学長自ら教員の研究室に入りエアコンの設変更、空調の輪番停止などを全学的に行い、約3000万円の省エネになりました。省エネの経済効果は、馬鹿にできないことがよくわかりました。

2位はフェリス女学院大緑園キャンパス(横浜市)、3位は東京大(東京都)です。一昨年は私立大学部門で第1位、昨年は同部門で2位でしたが、今回は総合で第1位となりました。

なお、当協会の佐藤茂夫代表理事は日本工業大学ものづくり環境学科の教授であり、他に尾園次郎副代表理事、佐藤和雄理事、富成研一会員、雨宮隆会員が、当学科の非常勤講師、特別講義等を担当しております。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.asahi.com/national/update/1023/TKY201210230445.html>

●メタンガス発酵プロジェクトが東北建設協会の技術開発支援テーマに決定(10月23日)

当協会が推進している霊山町の放射線汚染物資のメタンガス発酵処理プロジェクトが、10/23の社団法人東北建設協会選定委員会において、技術開発支援テーマに決定されました。詳細は後日連絡がありますが、これまでの関係各位の本プロジェクトに対するご理解、ご協力に感謝すると共に、今後とも倍旧のご支援をお願い致します。

●第11回 REPA 親睦ゴルフコンペ開催(10月27日)

秋晴れの絶好のコンディションの下、第11回 REPA 親睦ゴルフコンペが10月27日、セントレジャーゴルフクラブ千葉で開催されました。スコアは86から151まで幅が広がりましたが、それぞれ秋の一日プレーを楽しむことが出来たと共に、懇親会での REPA の活動に対してさらなる理解を深め、引き続いてご支援を戴けることとなりました。

次回第12回は2013年5月25日(土)を予定しております。詳細は別途ご連絡致します。

2012年10月25日

●REPA 情報交換会 11 月度(11月 7 日)

REPA 情報交換会を来る 11 月7日(水)18:30~20:00 の予定で開催いたします。当日は尾園副代表から「水素循環型社会と再生可能エネルギー」と題して 30 分程度の話題提供があります。このほか、当面の活動予定等についての事務局からのお知らせがありますので、お時間のある方は是非、ご参加ください。

場所は、当協会の牧美江理事の事務所を予定しております。添付の地図 [sakuraseikei.jpg](#) にあります「さくら 整体療術院」のビルの303号室です。なお、当日参加の方は資料作成の都合がございますので、事務局までご一報願います。

● 霊山プロジェクト定例会議が現地で行われました(10 月 23 日)

10 月 23 日に PJ メンバーの定例会議を実施しました。メタン発酵の状況、今後の冬対策、水田の放射線測定結果のレビュー、分析試料の選定作業等を行いました。

メタン発酵 PJ は発酵槽を 2 系列にするなどして、種々の有機物を投入出来るようになりました。これからは柿の実も投入する予定です。メタン発酵装置はこれから冬支度で、発酵槽を保温するためのヒータを設置しました。これには電気を使いますが、この電気は家庭の使用済みてんぷら油などの廃油を燃料としたディーゼルエンジンで発電します。当日は地元の炭でサンマを焼いて、ご飯はメタン発酵で出来たガスを燃料とした炊飯器で炊いたご飯で昼食をとりました。さんまの頭などの残りはまたメタン発酵槽のエサです。まさしくバイオマス自立生活です。

水田除染 PJ は試験水田の空間線量率測定結果、作業結果のレビューを行い採取したサンプルのどれを分析にするかなどの検討を行いました。

両 PJ の結果は東京での定例 PJ 会議でさらに検討評価を行います。



真剣に討議する PJ 会議(左より大沼氏、尾



2 系列となったメタン発酵槽

園、佐藤、大波氏、冨成、篠田の各位)	
	
<p>地元炭で焼いたさんまを前に尾園副代表 うまい！</p>	<p>メタン発酵ガスで炊いたご飯。美味し い！</p>
	
<p>除染試験水田 A の測定ポイント 竹を立て ている箇所</p>	<p>測定値を確認している冨成会員</p>

2012年10月5日

●**霊山町水田除染プロジェクトが三井物産環境基金助成先に決定(10月1日)**

本プロジェクトは、すでに当協会ホームページ「REPA 最新情報」、「復興支援」で紹介しておりますが、この度、2012年三井物産環境基金の助成が決定致しました。関係の皆様のご協力に感謝致します。

詳細は、三井物産環境基金 2012 年度活動助成(復興助成・一般助成)の助成案件決定ホームページ

http://www.mitsui.com/jp/ja/release/2012/1199155_3610.html をご参照ください。

これにて当協会活動にさらに弾みをつけていきたいと思っておりますので、倍旧のご支援をお願い致します。

なお、10月6日の福島民報・岩手日報の朝刊、10月7日の朝日新聞・河北新報の朝刊、10月9日の日経新聞朝刊にも掲載されております。

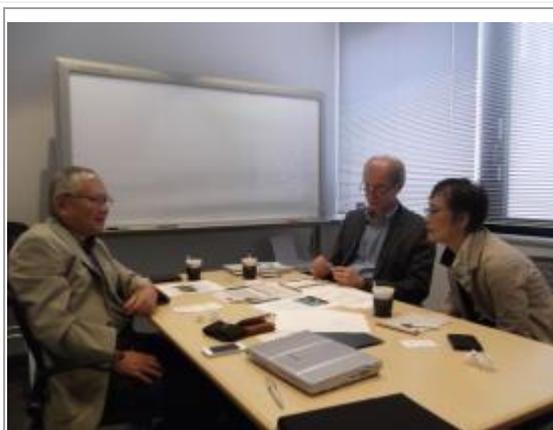


●ドイツ大使館 食料農林消費者保護担当参事官 Dr.ファスベンダー氏が当協会を訪問(10月5日)

10月5日13時、ドイツ大使館のウルリッヒ・ファスベンダー参事官(食糧農林消費者保護担当)が通訳を連れて当協会にお見えになり、日本のバイオガスについてお話を伺いたいとのことで、日本の普及状況、政府・民間の取組、将来展開について今泉理事よりご説明をいたしました。

また特に当協会の福島霊山町の活動については、放射能に汚染されたバイオマスのバイオガス化と除染によりバイオマスの減容と放射能の濃縮ができ、更にエネルギーが得られる、また作物に放射能が吸収されれば水田や畑の除染にもなることにとっても興味を持たれました。

今後日独でバイオマスについて技術的な情報交換会を持つ予定があるとのことで、その時は是非参加して戴きたいとの要請がありました。私たちの活動もいよいよ世界が注目することになりました。



今泉理事とファスベンダー参事官(中央) 右通訳



会議後の今泉理事とファスベンダー参事官、再開を約して

●REPA第1回グランドチャンピオンゴルフ大会(10月4日)

掲題のゴルフ大会が千葉県茂原市真名カントリークラブ ケーリー・プレーヤコースで行われました。当日朝の台風接近が懸念されましたが、アクアライン速度制限 40km/h 程度の影響で、コースの強風もなく、午後は快晴となり参加者全員楽しくプレー出来ました。今回は平日開催でしたので参加者が8名でした。現役を引退した人々が今後増えて行くと思いますので、今からその為の準備を始めました。